

探訪 長門のい（おみ）④④

深川高等女学校

紀元二千六百年記念造林の碑

所在地 上川西・飯森山ふもと

碑身 高さ約180cm 21cm角

碑文

〈正面〉

奉祝紀元二千六百年記念造林

山口県立深川高等女学校

〈右側面〉

昭和十五年十二月十四日植初式ヲ行フ

学校長 脇本直甫

深川町長 河野米蔵

〈左側面〉

昭和十六年七月建立



上川西を通る広域農道から、飯森山への登山道（登山口に標識がある）を300mばかり登ると、旧林道との合流点に達する。ここから旧林道に入り、砂防ダム（堀越ダム）の方へ少し下ると、左側斜面の藪のなかにこの碑がある。

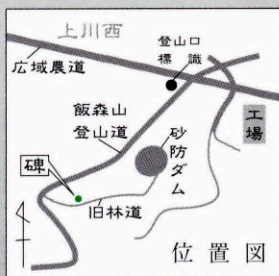
日中戦争（支那事変）ただなかの昭和15年、日本は「皇紀2600年」（西暦1940）を迎えた。深川高等女学校（現、大津高校）ではその記念行事として、飯森山で松・杉などの造林をおこなった。

昭和12年（1937）7月、日中戦争が勃発。翌13年4月には国家総動員法が公布される。経済統制・言論統制によって、国民生活は物心両面から締めつけられ、あらゆる物資は軍需に優先された。世は竹製スプーンから木炭自動車に至る代用品時代となり、食糧は切符制となった。

昭和16年12月、太平洋戦争に突入するや、労働力不足を補うため、学徒や女子の勤労奉仕が法制化された。昭和19年、深川高女の生徒たちは、下関の林兼造船所（当時軍需工場）へ、同校研究科の生徒も、女子挺身隊として長府の神戸製鋼所へ動員された。

この碑は、ともすれば忘れがちの、戦時の厳しい国民生活を想起させる。

（正）



（寄稿・長門市郷土文化研究会）

こちら 119

防ごう！山火事

温暖化 防ごう森林 守ろう火から

（山火事予防運動統一標語）

山火事は、春先に多く発生しています。この時期は、雨が少なく空気が乾燥突然強風の吹くことがあります。

山火事を起こさないために、次のことを守りましょう。

- 枯草等のある火災が起こりやすい場所ではたき火をしないこと。
- たき火の場所を離れるときは、完全に消火すること。
- 強風時及び乾燥時には、たき火、火入れをしないこと。
- 休耕田の枯草を焼却するときは、小分けにして行うこと。
- 火入れは市町の許可を必ず受けること。
- たばこの吸殻は、必ず消し投げ捨てないこと。

長門地区中央消防署 22-0119

火災時の問い合わせ 22-1414

